

高千穂大学、2027年度入試より入学金を22万円から2万円に“実質撤廃”へ 受験生・保護者の入学手続き時の負担軽減へ向け制度改革を実施

この度、高千穂大学（東京都杉並区、理事長：成田博）は、2027年度入学者選抜より、入学金を現行22万円から2万円へ引き下げる制度改革を実施いたします。

近年、受験費用や進学費用の上昇が家計へ大きな影響を与える中、同大学では「進学機会の確保」と初回手続き時の「保護者負担の軽減」を目的として制度を見直しました。

施設設備費などの各種費目については授業料へ統合し、4年間総額の学費バランスを維持しながら、受験・入学手続き時点での負担軽減を重視いたします。

また、新カリキュラムの導入により専門性を深めながら領域横断的な学びを可能にする教育体制の整備や、高千穂大学の取り組みをより多くの生活者に発信する新しいコミュニケーション手法として各種 SNS の開設などにも着手しています。

背景：文科省通知と受験費用をめぐる状況

2025年6月、文部科学省は全国の大学に対し、入学時納付金の負担軽減を求める通知を発出しました。複数の大学に合格した受験生が第一志望校の可否結果を待つ間に、併願先の大学へ入学金を納付しなければならないケースがあることなどを踏まえ、受験生・保護者の経済的負担への配慮を求めるものです。

近年、大学受験では、受験料に加えて、交通費や宿泊費、入学手続き費用など、入学前段階で多額の支出が発生しています。特に私立大学では、合格後短期間で入学金納付を求められるケースも多く、家計への負担が課題となっています。高千穂大学では、こうした現状を踏まえ、「入学前の負担を下げる」ことを重視した制度設計へ転換いたしました。

制度の概要

1. 入学金を22万円から2万円へ引き下げ

高千穂大学は、2027年度入学者より、入学金を現行の22万円から2万円へ引き下げます。

この2万円は、学生証の発行やネットワークIDの準備など、入学手続きに必要な事務経費の実費相当額です。そのため、入学を辞退した場合も返還は行いません。これにより、受験生・保護者が合格手続き時に負担する初回納付額は、従来よりも大きく軽減される見込みです。

※具体的な金額は後掲表をご参照ください。

2. 学費構成を簡素化し、費目を授業料に統合

これまで高千穂大学では、授業料に加え、「施設設備費」「教育充実費」等の費目を設定してきました。2027年度入学者からは、これらの費目を廃止し、授業料に統合します。

本見直しは、費目ごとの用途が受験生・保護者にとって分かりにくいという課題を踏まえたものです。納付者が、総額と目的をより理解しやすい学費体系へ見直すことで、学費全体の透明性向上を目指します。大学としては、預かった学費について、教育の質向上に責任を持って還元していく方針です。

▼素材ダウンロード▼

リリース内素材：<https://x.gd/RBJWm>

学費の見直し内容について

受験生・保護者にとって何がかわるのか

今回の見直しにより、最も大きく変わるのは、合格手続き時に必要となる初回納付額です。一方で、2年次以降の年間学費は現行より上がりますが、4年間総額で見ると、都内文系私立大学の中で標準的な水準に収まる見込みです。

比較項目	見直し前	見直し後	増減
合格手続き時の初回納付額	220,000	20,000	200,000▼
初年度納入額合計	1,194,000	1,194,000	0-
2年次以降 年間学費	974,000	1,174,000	200,000△
4年間総額	4,116,000	4,716,000	600,000△

※高千穂大学提供

従来、入学時納付金の一部は、入学辞退者を含む手続き者からの納付により構成されていました。今回の見直しにより、高千穂大学は、そうした構造への依存を大きく縮小させ、在学生に対する教育提供に対応した学費体系へ移行します。

なお、本見直しは、中長期の学生募集見通しと教育投資計画を踏まえて設計しています。学費構成の見直し後も、教育・施設への必要投資を継続できる見通しです。

教育改革について

高千穂大学では今回の制度改革と並行し、「社会で求められる力」を育成する教育改革も推進しています。

○主専攻+副専攻制度（サブメジャー制度）

学生は所属学部・学科の専門分野に加え、他分野を副専攻として横断的に学ぶことができます。現在、22のサブメジャーを設置しており、

- ・マーケティング
- ・アントレプレナーシップ
- ・心理学
- ・表象文化
- ・数理・データサイエンス
- ・グローバル教養&ビジネス
- ・スポーツ

など、多様なテーマを学ぶことが可能となります。

近年、企業では「一つの専門性だけ」でなく、“複数分野を横断できる人材”へのニーズが高まっており、同大学では社会変化に対応した教育体制を強化しています。

○全学横断 PBL（Project Based Learning）

学部・学科を越えてチームを編成し、企業や地域社会の課題解決に取り組む PBL 型教育も推進しています。学生たちは、企画立案、調査分析、プレゼンテーション、チーム運営、実社会とのコミュニケーションなどを実践的に学ぶ。単なる座学ではなく、「実際に考え、動き、発信する力」を育成することを重視しています。

○少人数ゼミ教育

同大学では、40名以下の授業が全体の69%を占めています。また、1年次ゼミは13~15名規模で運営され、学生一人ひとりへの個別面談や学習支援も実施しています。大学生活への適応、進路形成、学習支援などを含め、教員との距離が近い教育環境を特徴としています。

○海外提携校拡充

海外提携校との連携も拡大しており、グローバル視点を育成する教育機会を強化しています。短期留学や海外交流に加え、多様な文化や価値観へ触れる経験を通じて、国際社会で必要となる視野やコミュニケーション能力の育成を目指します。

「学びの成果が可視化される大学」へ

同大学では、成績優秀者、資格取得者、課外活動で成果を上げた学生への表彰制度も強化しています。単なる「在籍」ではなく、何を学んだか、何に挑戦したか、どんな成果を出したかを重視し、学生の成長や挑戦を可視化する大学づくりを進めていきます。

これは近年、就職活動において重視される「ガクチカ（学生時代に力を入れた経験）」形成支援にもつながる取り組みとなります。

表彰制度の拡充

学生の挑戦や成果を大学として可視化し、努力が正当に評価される環境を整えるため、表彰制度を拡充します。学業成績に加え、資格取得についても表彰対象を広げ、幅広い学生のモチベーション向上につなげます。

【学業成績ベースの主な表彰】

表彰項目	旧制度	新制度
学業成績優秀者賞	授業料相当免除	-
小池賞	賞金 5 万円	10 万円
川田賞	-	賞金 25 万円、学費免除 55 万円
学長賞	-	賞金 25 万円、学費免除 25 万円
学部長賞	-	賞金 15 万円
父母の会賞	-	賞金 3 万円
留学生優秀賞	-	賞金 10 万円

※高千穂大学提供

【資格ベースの表彰】

資格難易度を A・B・C に区分し、段階別に表彰します。

資格 A

公認会計士試験 短答式試験合格：20 万円

公認会計士試験 論文式試験合格：30 万円

税理士試験 1 科目合格：10 万円

日商簿記 1 級または全経上級：10 万円

資格 B（一律 5 万円）

リテールマーケティング（販売士）検定 1 級

応用情報技術者試験

保育士

英検 1 級・準 1 級

TOEIC L&R 785 点以上 など

資格 C (一律 1 万円)

2 級ファイナンシャル・プランニング技能士

一種証券外務員資格試験

宅地建物取引士資格

基本情報技術者試験

秘書検定 1 級

TOEIC L&R 600~784 点 など

高千穂大学関係者のコメント



プロジェクト主導 高千穂学園 代表業務執行理事 石井 康彦

受験生からすると、合格の権利を維持するための入学金は少ない方がいい。だったらやってみようということで、入学金を 2 万円にしました。現状の違和感から目をそらさず、「大学のあたりまえ」をひとつひとつ見直していく。高千穂大学は、学生を第一に考える大学をめざして半歩先へ進みます。



高千穂大学 学長 齋藤 元紀

ミライ共創カリキュラムでは、3 学部 11 コース・専攻で専門性を深めると同時に、22 のサブメジャーで学びを広げ、全学横断 PBL で企業や地域の課題解決に挑みます。15 名規模の少人数ゼミによる丁寧な支援を通じ、どの地域、どの家庭の若者にも質の高い学びの機会を届けることが本学の使命です。

高千穂大学 建学の精神について

学風の指針 - 「常に半歩先立つ進歩性」

「半歩」とは、自らの役割を着実に実行する不断なる行動の継続性を、また、「進歩性」とは、不断なる継続的行動力により培われた理論・知識を基礎に現象を客観的に捉えると同時に、現象を生起せしめる原因ないし法則性を分析し、そのうえで将来を展望しうる先見性を具備するという学問研究に求められる体系的・理論的資質を意味するものである。

更にこの学風の指針を具現化するための人格的資質すなわち、豊かな人間性・人格の形成を明確に示すものとして、「偏らない自由人」・「気概ある常識人」・「平和的国際人」を掲げ、これを学風の目標としている。

オープンキャンパスについて

本学のオープンキャンパスには様々なコンテンツが用意されております。受験生や保護者の方に理解してもらえようように分かりやすく、そして丁寧に工夫をこらしています。1 回の参加で全てが分かるようになっておりますので、ご家族・お友達と一緒に参加してください。

オープンキャンパスについて：<https://takachihomie.jp/>

申し込み URL：

https://www.ocans.jp/takachiho?fid=7AzOHqvK&_gl=1*54wnnr*_gcl_au*MTU2MTI1MDg2My4xNzc5ODczNjMy

※開催日程や時間、開催内容など、変更が生じた場合には上記のページでお知らせします。

※各回のテーマや模擬授業の詳細などは、決まり次第上記ページを更新します。

—本報道に関するお問い合わせ先—

高千穂大学 広報事務局 (株式会社マテリアル内) TEL : 03-5459-5490 / FAX : 03-5459-5491
MAIL : bp4-2@materialpr.jp

—新制度詳細や入学金に関するお問い合わせ先—

高千穂大学 入試広報部広報課 TEL : 03-3313-0276 / FAX : 03-3313-9034
MAIL : koho@takachiho.ac.jp